



木下けんじ事務所 〒239-0822 横須賀市浦賀5-8-5-1102

TEL(FAX)046-841-6326 携帯電話:090-5303-0828 URL <http://k-kinoshita.jp/>

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈りします。

○平成23年第3回定例会

9月1日(木)から10月4日(火)の間、第3回定例会が開催されました。

第3回定例会—No1 決算審議

例年第3回定例会は、主として決算案を審議する定例会です。

10月4日の本会議において、平成22年度決算は賛成多数で承認されました。

1 決算全般

一般会計の決算額は、前年度に比べて、歳入は約29億円減少、歳出は約33億円減少しています。歳入面の特徴として、①個人市民税の減収(約16億円)②財政調整基金繰入金取崩しの減少(約16億円)③定額給付金の減少(約25億円)④地方交付税の増加(約22億円)⑤臨時財政対策債の増加(約19億円)などが挙げられます。また、歳出面では扶助費(生活保護等)の増加(62億円)傾向が続いています。

特別会計の決算額は、歳出歳入ともに、前年度に比較して約174億円増加しています。これは主として、公債管理費において、平成5年度債である芸術劇場及び産業交流プラザ整備に係る市債の借り換えが行われたため、歳出歳入ともに増加したものです。



- 所属党派:自民党 ○役職:副議長
- 所属常任委員会等
 - ・予算決算常任委員会
 - ・都市整備常任委員会
 - ・防災特別委員会
 - ・議会制度検討委員会

このように、一般会計では、扶助費は依然として増加しています。一方、市税は減少したものの、地方交付税及び臨時財政対策債が増加したことにより、経常収支比率は1.9ポイント改善しています。経常収支比率は改善したとはいえ、いまだ厳しい状況にあり、財政の硬直化については、引き続き注視する必要があります。

種別	歳入	対前年度	歳出	対前年度
一般会計	1396億円	29億円減 △2.1%	1356億円	33億円減 △2.4%
特別会計	1100億円	174億円増 18.7%	1073億円	174億円増 19.3%

経常収支比率=(経常的にかかる行政費用)÷(経常的に入ってくる収入)

	21年度決算	22年度決算	増減
経常収支比率	97.3%	95.4%	1.9ポイント減

2 自衛隊・米軍関係交付金

交付金は下表のとおり決算されました。

種別	決算額	備考
国有提供施設等所在市町村助成交付金	21.5億円	固定資産税相当
特定防衛施設周辺整備調整交付金	3.2億円	中学校施設整備、消防自動車整備、道路整備等
再編交付金	8.7億円	小学校空調設備整備基金への繰入等

第3回定例会—No2自治基本条例検討特別委員会

9月1日(木)本会議において、自治基本条例検討委員会の設置が決定しました。自治基本条例を簡単に云いますと、①昨今の地方分権改革の流れを革新的思考で加速させる②「市民自治」、「市民主権」、「地方政府」などの概念を地方自治の枠組みとすることを企図③自治基本条例を当該自治体の最高規範として自治体を運営する一ということ。

自治基本条例の制定は、吉田市長が選挙公約の目玉としたものの一つです。市長としては今年度末の制定に向けて検討を開始しており、検討委員会等の会議も行われてきました。これからは議会として、自治基本条例の制定に向けて本腰を入れることとなります。

すでにいくつかの地方自治体では、この名称の条例は制定されていますが、多くの問題点が含まれています。以下列挙します。

- 1 地方自治における「条例の最高規範性」と憲法、法律との整合性
- 2 「市民主権」、「地域主権」など曖昧な概念をもとに行政運営することの危険性、そもそも「市民の定義」が曖昧
- 3 住民投票の制度設計の是非①常設型住民投票制度の是非②住民投票の対象案件③投票の枠組み(発議権、有権者、投票結果の効力)

いずれにせよ、多くの議論が惹起されると思いますが、将来に禍根を残さない十分な議論が必要です。プれることなく、立ち位置を決めて、検討をリードしたいと考えます。

木下けんじへの期待・要望・ご意見などをお寄せ下さい。返信FAX 046-841-6326

氏名

連絡先

第3回定例会－No3 防災体制等整備特別委員会中間報告



津波一斉避難訓練9月11日

防災体制等整備特別委員会は、本年6月に設置されて以来、精力的に審議を重ねています。6月以来これまで8回の会議を開き、市役所関係部局や避難所となった各学校から聞き取り調査を行いました。主な審議内容は次のとおりです。①防災無線等、情報の配布要領②市役所災害対策本部の態勢③避難所運営要領(帰宅困難者対応を含む)④防災備蓄の態勢⑤町内会・自主防災組織の現状

10月4日(火)、本会議において本特別委員会の中間報告を行いました。報告の概要は次のとおりです。

- 1 防災情報伝達要領の再検討 2 避難所備蓄資材の改善 3 避難所の衛生設備・トイレの改善

なお、9月11日に行われた、津波一斉避難訓練についても、実施要領を審議し、多くの提言を行いました。この特別委員会は、今後も当分の間継続され、審議を重ねることとなります。本委員会の一員として、3月11日の東日本大震災の事態を検証し、得られた教訓を市政に反映させる責務を果たします。

○平成24年度予算要望

9月13日(火)、自民党市議団として、来年度予算編成に際しての要望事項を、市長へ手交しました。予算要望の主要な事項は次のとおりです。

- 1 新港地区の整備:新港地区「賑わいゾーン(仮称)地産地消マーケット」整備と連動した観光・集客エリアを目的とする、周遊コース構築のために、新港・三笠公園・猿島航路周辺施設を整備する。
- 2 危機管理官(仮称)の新設:本市の危機管理体制強化のため、職制としての危機管理官(仮称)を新設し、その職に危機管理のスペシャリストとしての自衛隊OBを採用・補職する。
- 3 災害協定の締結:災害時における即応体制の確立のため、企業・団体等(建設・土木・運輸関係等)との間で締結されている災害協定の見直しと実効性のある一元化した災害協定の締結
- 4 町内会館に対する耐震診断の奨励と促進:市内各町内会館には老朽化している建物も多く、その公共性に鑑み、行政として耐震診断の奨励に努める。
- 5 「ソレイユの丘」のPFI事業終了に備え、今後の同園の管理体制の調査研究:平成17年の開園以来、すでに6年目を迎えた同施設のPFI事業の今後について、調査研究を推進する。
- 6 就業支援策の充実:ハローワークおよび商工会議所との連携を図り、未就業者、就業希望者への就業支援を推進する。
- 7 有形無形文化財の有効活用:本市の特徴ある無形文化財の保存と伝承、歴史遺産・機械遺産の発掘や保存と登録を通じ、本市の観光集客事業に活用する。
- 8 国道357号線の横須賀延伸の早期計画と着工:国道357号線の夏島町までの早期整備と南下延伸計画の早期具体化
- 9 横須賀港の整備:東京湾内各港湾の整備(京浜港:国際コンテナ戦略港湾・千葉港:特定重要港湾)と連動した、重要港湾としての横須賀港を再整備する。
- 10 「走水の水」の販売促進



新港埠頭



第三海堡遺構



ソレイユの丘

ご存知ですか？ 横須賀サイトシーイング(NPO法人)の設立

9月、横須賀サイトシーイング(NPO法人)が設立されました。これは、自衛隊OB有志ならびに地元関係者が一体となって、基地関連施設を活用した、観光による本市の活性化と防衛意識の向上を目的とした団体です。横須賀には海軍の遺産及び陸海空自衛隊基地・防衛大、そして米海軍基地が所在し、他都市に見られない特長があります。「横須賀サイトシーイング」は、これらの資源を活用して、自衛隊OBが主体となって観光ツアーを誘致するなど、横須賀市の集客事業に貢献しようとするもので、人材の育成と雇用の拡大にもつながるものと期待されます。「横須賀サイトシーイング」の皆様には、横須賀ならではの魅力を、全国に発信して頂きたいと願っています。

木下けんじの経歴

昭和25年生まれ
夏島小、追浜中、県立横須賀高校卒業
昭和48年防衛大卒業
以後海上自衛隊勤務 潜水艦艦長等
平成18年海上自衛隊定年退官
平成19年市議会議員(Ⅰ期)
平成23年市議会議員(Ⅱ期)

現在
横須賀海洋少年団 顧問
横須賀水交会 幹事
隊友会横須賀支部 相談役
曹友会 相談役

ホームページを開設しました。
御来訪をお待ちしています。
URL <http://k-kinoshita.jp/>

連絡先

木下けんじ 事務所

〒239-0822 横須賀市浦賀5-8-5-1102 TEL (FAX) : 046-841-6326
URL <http://k-kinoshita.jp/> 携帯電話:090-5303-0828